

19年度 第3回安全・安心・すこやか部会 摘録

開催日時 平成19年7月12日(木) 午後6時00分～8時00分

会場 幸区役所プレハブ会議室

参加委員

専門部会 A 委員：末兼卓副部会長、青山一、荒井康男、齋藤茂、綱川幸子、葉山直次

事務局（総務企画課）：高橋主幹、北村主査、小出職員、吉田職員

傍聴者：2名

次第

1. 報告事項

○区民会議（7月12日開催）の報告

2. 議題

1. 「健康で生きがいをもてる地域づくり」の部会まとめについて

2. その他

議事進行：末兼卓副部会長

開 会

本会議の情報公開に関する委員の了承。

次第、配布資料の確認。

（事務局）

手塚部会長から一身上の都合により、辞任したいとの申し出があった。

大久保委員に代わり、齋藤委員が就任した。

区民会議の報告

（末兼副部会長）

部会の報告を全体会議でして、意見を頂いた。第2回区民会議で部会のまとめを報告するので、今日は部会のまとめに向けての検討をする。

○全体会での意見

要支援・要介護の方の状況をわかった上で、健康な方の健康づくりについて話し合っはどうか。

65歳以上の方、26,789人で要介護者の方、4,093人いる。

○全体会での意見

生きがいについて取り上げて検討してはどうか。

部会のまとめでの対応策として、はりあい・楽しみを持つことが大切である。

全体会の意見について、部会でどのように対応していけばいいのか。

身体の健康をポイントに絞って、今後のテーマとして考えることでいいのか、健康だけではなく、生きがいというテーマも入れていかないといけないのか。

(齋藤委員)

生きがいをもっていないと健康に過ごせないのではないかと。生きがいを提案していった方が良いのではないかと。

(青山委員)

健康づくりではないのだが、老人クラブが健康づくりの一つの団体。NPOにも健康づくりの団体がある。

(末兼副部長)

老人クラブの会員が減っている。

(綱川委員)

生きがいづくりは健康づくりだが、具体的にどのようにやったらいいのか。老人クラブも会員数が減っているのだから、いかにして会員数を増やすか。虚弱で一人暮らし・健康で一人暮らしのデータも見たが、今日持ってこなかったが、どうしたら減らしていけるか。幸区の一人暮らしで寝たきりの方は、10名前後。家族同居で寝たきりの方は、結構いる。

(葉山委員)

A・B・C・Dの会の方々に一度集まってもらって、この中で討議してもらうのはどうか。この会で、取り上げることが見えてくるのではないかと。

(綱川委員)

どんな意見を持っているのかわかる。

(末兼副部長)

一度会の方をお呼びして、その会の必要度を主張してもらって判断する。

(綱川委員)

河原町とか日吉の方を見学させてもらったが、老人クラブの会にこんなところが足りないと思見を言ってもらえたら、力を入れられ、参考にもなる。

(末兼副部長)

このテーマを取り上げたときに、生きがいのメンタルな面は、身体に絞り込んでいこうとスタートした。健康というのを何に動かしていくか考えて、ウォーキングが良いのではないか。65歳以上の2万人が要介護でない人であり、要介護にならないために健康づくりというテーマに絞り込んでいこうという流れではなかったか。各団体を参考にさせてもらって、2万人の方たちにどのように参加してもらって、どのような形でやっていけばいいのか区民会議で提案していく。生きがいというメンタルな部分は、テーマがあまりにも広くなるので、一回置いておく形にした。2万人の方たちをどうすれば、要介護状態にならないのか、そのためにどういうシステムを提案すれば区が動いてくれるのか。小学校区でだいたい5千人ぐらい抱えていて、そうするとそのうち65歳以上の方が千人ぐらい住んでいる。千人を小学校区でくくって、どのように動いていくのか。町内会等がまとまってやっていくような形の提案ができるのではないか。各老人クラブの10~20名ぐらいの集会所ではなくて、大きいくりをやって、老人会とか民生委員とか社会福祉協議会がやっているようなことをその中に入れて、運動を広げていく。そのテーマはあくまでも健康づくり。

(葉山委員)

前回は、ウォーキングを中心に進めていこうと。その場合、受け皿はどうしようかというところまで煮詰めていった。

(荒井委員)

前回お休みしていたので、どういう状況でこういう提案が出たのかわからないが、生きがいというのは、人間の一生のテーマで、生きがいとは何かということから始まっていかないと絵だって描けない。人それぞれ違うし、生きている甲斐がないと感じる人は、痛みとか身体が辛いとか健康面で生きがいを感じないかもしれないし、体の部分は何ともないけれど親との折り合いが悪くて、生きていてもしょうがないとか環境・状況で違う。まず、健康だろうし、生きがいに感じるのとはいうアンケートを取ったこともない。アンケートで多いところからテーマにして取り組んでいかないとならない。区民全体のことを考えてやっているから、万人にいいだろうということからやって行かざるを得ない。新たに意見が出たからといって、すべてを提言に盛り込む必要はない。

(網川委員)

アンケートをとるのもひとつの方法だと思う。万人が同じとは思わないが。

(末兼副部長)

健康であるのがベストで、ここで取り上げているのは健康づくり。2万人に対して、働きかけていく。

(葉山委員)

第1回の区民会議では、受け皿として、(仮称)健康づくり応援団を作ったらどうかという発言があった。ただ、心のケアまでは無理かなと思う。

(荒井委員)

次に要望が強ければ、心のケアというのも考える。アンケートでも取って、何が一番望まれているのか現状を把握することが大事。簡単に取り上げても批判・非難だけがある。

(齋藤委員)

途中から参加することになって深い状況がよく分かりませんが、ウォーキングがいいということとで絞り込んでいるが、健康と心身に繋がるか分からない。小学校のPTA活動に携わっているが、3年前から不審者情報があって、子どもたちを見守らなくてはならないということで、地域の町会にお願いをして、老人クラブや町会の人たちに見守り活動にかかわってもらっている。決まった時間に見守り活動をして頂き、そこにお父さんたちも加わった形になった。外に出て、家の周りを歩いてもらうことで、犯罪発生状況のデータが3年間で減少した。地元の婦人部や老人会の話によると、子供たちと話をするのが楽しいし、外に出る機会が増えると言っている。こういう事は、心身によいのではないが、健康に繋がっていくのではないか。メンバーの方と声を掛け合うのが楽しいと言っているし、子どもたちも見守りの方から顔を覚えてもらい、挨拶をしてもらうことは必要ではないか。

(末兼副部長)

私も見守り活動に参加している。人数的には、30～40人ぐらいしかボランティアという形で集まっていない。全体の2万人の人たちをどのように引っ張って、どのようにもっていくかが、区民会議のテーマになってくると思う。ここで、ウォーキングと健康をテーマにして、区長に提案していく。まちづくりの健康クラブを立ち上げる。その立ち上げたところに対して、区民会議でどのようなイメージを描いて渡さなければならないのか。それをもう一度、討議してもらう。

(綱川委員)

アンケートを取ってみるのも良いと思うし、見学にいったところの団体の方に集まってもらうとか検討する。

(末兼副部長)

具体的に地区ごとのウォーキングをやっていこうというのが、部会と区民会議で提案されていたが、これについてどのような形で持っていけばよいのか。ブロックをどのようにすればよいのか。幸区内で避難所22ヶ所、小学校単位に持っていって、その小学校区に属している民生委員・老人会に集まってもらって、年に1~2回歩いたり体操したり講演会をしていく。20~30人ぐらいのブロックが広がっていく。年に2回ぐらいウォーキング大会で歩いてきて、講演会をやるのがよいのか、小さいブロック単位にして、応援クラブで面倒を見ていく方法が良いのか。

(荒井委員)

既存の組織・会合を生かして、活性化を行う。今活動している会を地域ごとに集めてみて、活性化が期待できると思う。年に1~2回行政主催で、区全体の大会を行う。

(末兼副部長)

荒井委員が言われたように、幸区として年に1~2回行う。次の段階としては、22ブロックで集まって、中ブロック・小ブロックというように、今やっている活性化にプラスして刺激していく。

(綱川委員)

いろんなことをやるのは良いと思うが、予算は大丈夫か。

(末兼副部長)

我々は区民会議なので、予算上のものは何もない。区に提案して、我々のメンバーがどういう形で協力できるかということ。区として、応援クラブの組織を作ってもらって、企画をしていく。

(荒井委員)

区民会議は提案する場所なので、企画・実施・運営は行政で考えてもらえる。

(末兼副部長)

小学校(避難所)のブロックについては、応援クラブとかが企画する。もう一つは、全体会。三段階にして行う。一番身近で行っているのは、老人会や社協の会であり、輪を広げていく。

(事務局)

6月7日の全体会での意見の中で、要支援・要介護者を部会でも認識していかなければいけないという意見と、生きがいについては、取り上げて検討してはどうかという意見が出ていたが、今回のテーマは“健康”に絞り込んでいるということ副部長が全体会で説明している。地域で健康づくりを通じて、仲間づくりや交流の場をつくっていく。具体的な取組として、ウォーキングを具体的な取組みの1つとして、健康づくり活動をしていく。地域での健康づくりを考えたときに、一つの地域だけのためにやるのではなくて、幸区全体の高齢者の健康づくりを視野に入れて取組をしなければいけないということまでが、ここまでの議論ですね。

今議論しているのは、その全体像をどうやって出すか考えていくこと。末兼委員からは、2万人の人を一度に動かす仕組み。22ヶ所の地区ごとに動きを起こしていったらどうかという意見があった。併せて、荒井委員から、年に1~2回は全区を対象にした大会を入れてみてはどうかという話が、ここまでの流れである。

(末兼副部長)

資料2にある全体会議の意見の1と2については、十分尊重する必要はあるが、特に、2の生きがいについては、あまりにも個々の問題になってくるので、盛り込むのではなくて、今回は“身体健康”を取り上げたことを定義としている。健康によってメンタルなものプラスアルファとして出てくるのではないか。

(事務局)

第1回区民会議で頂いた意見を部会として受け止めて、資料2のとおり対応することを確認したということですね。

(末兼副部長)

健康づくりの具体的なイメージは、どのような形にもっていけばよいのか。前回発表した、応援クラブやウォーキングを活用して、既存団体をどのように活性化させるか。

(葉山委員)

受け皿をどうするのかということがある。応援団クラブに任せるのではなくて、区民会議として具体的に提案していきたい。応援団といっても、これはまだ仮称で、実在するものではない。既存のウォーキングクラブがすでにあるので、その中の一つにお願いして活動してもらおう。

(荒井委員)

新たな組織は作らないという方向で認識し合った。今ある組織・団体を生かす。具体的にどういう方法を取ったらよいか。

(末兼副部長)

応援団といっても、サポーターのような形なのか、アシスタントのような形であるのか。アシスタントは各団体で引っ張ってくる。アシスタントをたくさん作って、バックアップしていくのか。サポーターであれば、組織は必要ない。

(荒井委員)

組織ばかり作っても、動かす人がいないのでは。

(末兼副部長)

健康づくりに対して、横で動いてアシストできるような組織を作ってもらおう。

(荒井委員)

代表者を呼んで、こういうことをやるからと説明して意見が出たら行政と相談するのがよい。

(末兼副部長)

社協や区の協働事業のお金を出してもらって、アシストしてもらうように提案していく。組織を作ってもらうことを提案するのと、22ヶ所でやる。

(荒井委員)

何にお金がかかるかというと会場と交通費ぐらい。全体会だと交通費がかかるかもしれないけど、ウォーキングなのでかからない。広報は行政でやってもらえばよい。

(網川委員)

手弁当なら、お金はいらない。

(末兼副部長)

区民会議で検討するのは、どういう組織でどのようにすればよいのかで、各老人会一つ一つにお金を出すのは、大変。月に2回ぐらいの細かい講演会の動きが出てくる。

(網川委員)

そういう中で見守りの会とかの提案もしていくと良い。ウォーキングだけじゃなく、登下校の見守りの提案をするのもとっても良い。

(末兼副部長)

小学校を借りて、小学生と仲良くなることに生きがいを感じるようになったりする。

(葉山委員)

ウォーキングが出ているが、「日吉あゆみの会」等があって、役人が4人いて、主な代表者が3人いるみたいなので、この辺を中心に受け皿にしたらどうか。

(末兼副部長)

河原町小学校では、ひきこもり高齢者対策を社協でやっているが、200~300人集まってやっているような所を何カ所かピックアップして活用していく。健康応援クラブという組織を役所で立ち上げてもらって、そういうところとタイアップしてやっていく。

(葉山委員)

2万人を一度に動員するのではなくて、一ヶ所で200人ぐらいずつ集めれば、22ヶ所なら、5千人集まる。

(末兼副部長)

具体的にどのように提案していくのか。絞り込んでいこうと思うが、今日4名欠席しているので、ここで決めて良いのか、再度部会を開いて決めた方がいいのか。

次回の区民会議は、8月の下旬くらいの予定でしたか。

(事務局)

12名の委員から返信が来ているが、今のところ8月2日又は、7日の都合がいい人が多い。ただ、残り7名の返信がそろわないと確実なことは言えない。

(葉山委員)

当日の発表者とかを絞り込んでいく上で、もう一回部会を開く必要がある。第2回区民会議が下旬なら余裕があるが、上旬だと余裕がない。前回、萩原さんと小林さんに発表してもらったので、その続きで受けてもらって発表する。構成は決まったが、組織をどのように作ってもらうのかと提案をまとめるために、区民会議の前にもう一回部会を開きたいが、日程的につまっている。B部会ももう一度部会を開くのか。

(事務局)

B部会では、3名の委員に集まってもらって、詰めてもらう。今日集まった中でこうだという確認をした上で、各委員から御意見を頂いて完成させていく。

(末兼副部長)

区民会議の前にもう一回、部会を開く。

もう1回確認したいのだが、小学校区で分けて落としていき、区としてはそれを応援しながら、年1～2回全体会議にもっていく。

(綱川委員)

区老連は、仕事をたくさんやっている。遊ぶだけならだれでもいいので、生きがいと健康になるわけだけど、楽しみだから老連の人にも入って頂かないと。

(末兼副部長)

区老連だけでなく、今ある組織の皆さんに集まって頂く。まだ、参加されていない方たちにも参加してもらいたい。区の広報なりや町会にも回覧板を回して頂く形をとっていく。集まる、集まらないは別にして、そういうシステムを立ち上げる。

(綱川委員)

なんで行政は、新しいものばかり作るのか、長年苦労してやっている方のことを考えないのかと言われる。区老連に入っていない方がいるので、生きがい・健康づくりは良いと思う。

(荒井委員)

町内会やいろんな方たちに集まってもらおうと、皆さんに情報を広める場になる。アピールする場にしよう。今までの組織団体もそのまま、もっと広く集まれる場をつくり、新しい組織を作るのではない。今やっていて良いと思う部分をどんどん紹介して、広げていく場にする。

(末兼副部長)

2ヶ所を一度にやるというよりは、2～3ヶ所モデルを作って試行錯誤する。場所によってもだいが条件が違うので、一つ一つの条件を照らし合わせて、2～3ヶ所をピックアップしてウォーキングクラブを中心に立ち上げる。提案して、具体的にこのようにしていこう。区内の2万人にアピールができて、いろんな意見が出るので、そういう意見を吸い上げながらやっていく。

(葉山委員)

前回提案されたように、幸区の健康づくりクラブに絞って、そこからいろいろな関係団体の方々を組織に入れて、発信すればまとまるのではないか。そういうものを作らないとまとまらないのではないか。

(末兼副部長)

健康づくりクラブを作ったらどうかというイメージを提案する。健康づくりクラブは、アシストとしてやっていく。

(事務局)

今までの話の確認としては、健康づくり応援団は、幸区全体の高齢者の健康づくり・健康活動を推進するための組織を区役所が音頭を取りながら、関係する各団体に呼びかけて組織を作って、具体的な取組内容は、そこで考えていく。避難所があるエリアの中をターゲットにして、運動を進めていく。そこに新しくウォーキングクラブを作るわけではなくて、今活動されている団体の活動を活発にしたり、まだ参加されていない高齢者の方が積極的に参加されていくように、ウォーキングの手法を活用する。今、活動されている団体の協力の元にウォーキングの交流大会をやって、活性化させる。

例えば、老人クラブで、ウォーキングの練習をしてから皆さんとやる。健康づくりの手段の一つとして、ウォーキングにポイントを当てて、それを使って地域の団体の活性化や何も参加していない人たちの起爆剤にする。身近なエリアを動かすことによって、全体の取組になっていく。すぐに22ヶ所全部はできないので、何カ所かをモデル的にやって、そこでの取組を広げるということか。

(荒井委員)

個々でやっているところに何か魅力がなければ。正しいウォーキングを教えてもらうとか、一つの魅力づくりをイベント等で入れていく。

(葉山委員)

幸区の名所・旧跡等を中心に見てもらえれば、歩きながら楽しめる。普段と違うものが見られるような、魅力づくりを。

(末兼副部長)

最終的に報告するために次の部会で結論を出す。問題点は、応援団クラブにこのようにしてくださいという意見書を付けて、出していけばいいのではないか。

実際、健康な人がどのくらい参加してくれるのか、2割でベストにするのか、5割でベストにするのか。区民会議に提案する際に、1～2割の参加を目指して提案していく。ターゲットとしては、3～5千人。イメージは、ある程度やって絞り込んでもらい、次の部会でまとめて区民会議にかけて提案していく。

(事務局)

8月2日(木)に全体会が行われるかもしれない。

(末兼副部長)

事務局でまとめるのは、最低1週間かかると思う。7月25・26日くらいまでに部会を開かなければならない。

今日出た意見を萩原委員、小林委員に報告して、発表して頂く形でいいのか確認する。部会の次のテーマを出さなければいけないのだが、考えてきてもらって次回の部会を出してもらう。本日は欠席の方が多かったので、次回で調整する。

(事務局)

20日、24日、26日で調整する。今後の部会の議事進行については、副部長が一人でやっていて大変だと思うので、2人体制の方が良いと思う。

(末兼副部長)

会長は手塚委員で、空席にしておいたら良いと思う。

以上で終了します。